



ハイライトよねやま140

1 寄付金速報 — 米山月間へのご協力に感謝 —

10月までの寄付金は前年同期と比べて3.9%減、約2千万円減少の4億9,400万円となりました。普通寄付金が1.0%減、特別寄付金が6.0%減でしたが、10月単月だけで比較すると約400万円増加しました。

今回の米山月間には5人の方々から各100万円のご寄付をいただき、うち1人は法人としても100万円という大口寄付をいただきました。今なお、震災復興に向けて日本のロータリーが一丸となって尽力する中、米山記念奨学事業への変わらぬご支援に心より感謝申し上げます。2011年度も上期が残り2カ月を切りました。引き続き当会事業へのご協力をよろしく願いいたします。

2 2012学年度奨学金申し込み状況

2012学年度の米山記念奨学金(学部・修士・博士課程、地区奨励)には、指定校475校のうち419校(昨年度:442校のうち401校)から1,449人(同:1,504人)の応募がありました。

申込者の国籍・地域別割合は、中国が64.3%(前年度比+2.1%)、韓国15.5%(+1.1%)、台湾2.7%(1.9%)、その他が17.6%(1.2%)です。課程別では、博士課程が23.5%(0.5%)、修士課程45.5%(4.1%)、学部課程29.5%(+4.4%)で、学部生の割合が年々増加傾向にあります。大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」は、5地区10校から計21人の応募がありました。上記とは別に、現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には6地区12クラブから、また、2012学年度から試行がスタートした「海外応募者対象奨学金」には、海外から89件の応募がありました。

11月中旬から順次、当会事務局より各地区へ応募書類を発送します。その後、11月下旬~1月下旬にかけて地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者632人(2011年11月現在)が決定します。

3 タイ大洪水 — 現地の学友は今 —

日本でも報道されている通り、タイでは大洪水によって、首都バンコクを含む国土の広範囲が浸水。大量の水はバンコク中心部に向かって南下を続けており、依然予断を許さない状況です。



浸水した職場(米山学友提供)

米山記念奨学会では、タイ出身の奨学生や学友にお見舞いのメールを送り、被害状況の確認に務めました。幸い、家族を含めて無事との返信が相次いでいますが、中には自宅や勤務先が浸水して、避難している学友もいます。

バンコクの北、パトゥムタニ県の日系企業に勤める学友は、「勤務先の工場が2メートルの高さまで浸水し、現在は実家に避難しています。工場再開の目途は立っていませんが、復旧次第、できるだけ早く戻るつもりです」とのこと。また、同県では、数人の学友が教員として勤務するタマサート大学でも校舎が浸水し、学期の開始が遅れるなどの影響が出ています。

来年5月に開催されるバンコク国際大会に向けて、現地在住の約20人の学友が協力を申し出てくれていますが、こうした学友の中にも今回の洪水で被災した人がいます。

一日も早く洪水が収束し、タイの皆さんが元の生活を取り戻されることをお祈りいたします。

4 地区大会で米山学友が活躍！

今年も各地区大会で米山学友が活躍しています。

第 2780 地区（横浜・川崎以外の神奈川県）の地区大会では第二日目の 10 月 16 日、アブディン・モハメド・オマルさん（スーダン / 2005-08 / 東京国立白うめ R C）が「お金ではなかった米山奨学金」と題し、ロータリーとの出会いが「スーダン障害者教育支援の会」設立への原動力になったと、DVD による活動紹介を交えながら約 35 分間のスピーチを行いました。また、同地区大会では毎年恒例の、学友会による“お茶サービス”コーナーも賑わいをみせていました。

第 2610 地区（富山・石川）では、地区大会が 10 月 29 日～30 日、金沢市内で開催され、第一日目の指導者育成セミナーの特別講演に米山学友の姫軍さん（中国 / 1995-97 / 東京臨海 R C）が登壇しました。天安門事件の余波を受け、人生の歯車が大きく変貌したにもかかわらず、米山奨学生となって再び夢を持ち、弁護士として母国で活躍する姫さんの言葉に、会場は感動の渦に包まれました。炭谷亮一ガバナーも、「心が揺さぶられ涙が出ました。姫氏は大いなる勇者であり、真の愛国者であり、真の奉仕者です。中国と日本、そして中国と世界の懸け橋となり、世界平和のためにご活躍いただきたい」と、エールを送りました。なお、姫さんは 11 月 2 日、都内で開催された第 2750 地区山の手西グループの I M にも招へいされ、国際交流をテーマとしたスピーチを行いました。



上からアブディンさん、第 2780 地区学友会の皆さん、姫軍さん

5 第 3 回中国学友会総会が開催されました

10 月 22 日、「中日友好のために 私たちの使命」をテーマとした中国学友会総会が、北京市内の中国人民対外友好協会で開催されました。当日は学友 80 人、日本から 50 人が参加、来賓の前駐中国特命全権大使の宮本雄二氏が「アジアの未来と日中関係」と題する講演を行い、国同士の関係には民間の心と心の交流が重要である、と強く訴えました。そのほか、日本大使館の山田公使、日本国内の学友会長らが挨拶を行い、米山記念奨学事業の意義を再確認しました。全員で写真撮影の後、昼食を挟んでロータリアンと学友が交流を深め、午後は学友の案内で雍和宮を見学。昨年度より規模は小さかったものの、学友たちが日本のロータリーを忘れず、しっかりと活躍していることが実感できる総会でした。（事務局長：坂下博康）

